

この子らと

令和7年度3月号

命輝く子ども

研究保育(職員研修)



わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

3月は、「別れ」のとき

人生は出会いと別れの連続です。3月で去っていく子どもたち、職員、そして保護者のみなさま、残される私たちに、忘れがたき思い出を残しています。しばらくは、去っていく子どもたち、職員、保護者のみなさまとの思い出を引きずりながら新年度を迎えることとおもっています。

去りいかれる人々の前途に幸あれと祈ります。

本園の人事異動について

【退職】(令和8年3月31日付)

- ◇ (現きりん組担任-保育教諭)
- ◇ (非常勤保育教諭)
- ◇ (非常勤調理員)

本園のために大変尽力してくれました職員です。皆様方のご支援・ご協力に感謝いたします。

【異動】(令和8年4月1日付)

- ◇ (現きりん組副担任・常勤保育教諭)
わくわく紫原つぼみ保育園正規保育士へ異動
新しい任地での活躍を期待しています。

【途中転入】

すでに勤務している職員もいます。これまでの職員と変わらずのご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

- ◇常勤保育教諭
- ◇非常勤保育教諭

令和8年度職員構成予定

園長1 主幹保育教諭1 指導保育教諭1

常勤事務職員1

正規保育教諭 8

常勤保育教諭 4

非常勤保育教諭 5

子育て支援員 1

栄養士 2 調理員 2 常勤運転手 1 添乗員 1

臨時非常勤職員運転手 1 **合計 28名(外2名募集)**



外部講師による研修会

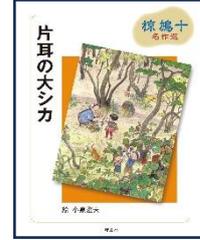
子どもたちの可能性を信じて

どんな人間でも必ず何かをもっている。
生きとし生きるもので不思議な力を持たず
して、この地上に生きているものは、一つも
ない。人間の数ほど才能もある。

(児童文学作家 椋鳩十)

長野県生まれ、鹿児島県始良市に【椋鳩十文学記念館】

主な作品「大造じいさんとがん」(国語教科書に掲載)「マヤの一生」等



大龍小学校を退職後2年間武・田上公民館に勤務していました。その時に壁面に掲示してあった詩がありました。とても心に残った詩でしたのでいろんな機会に使わせていただきました。

人生の出会い

人生はいろいろな人との出会い、ふれあいの旅びである。

人は、出会いによって、知人になる。

人は、付き合いによって、友人となる。

人は、助け合いによって、仲間となる。

良い友、良い仲間に出会うことができた人は、幸せである。

果たして、保護者のみなさまは、本園職員との出会いをどのように思っておられるのでしょうか。子どもを中心にともに悩んだり、喜んだりした「友人」以上であってほしいと願っています。

今回で本園を去られる保護者のみなさま、これまでのご協力・ご支援に感謝もうしあげます。

(園長外職員一同)